



あっという間に年の瀬が近づいてきました。この時期の日本の風物詩として欠かせない定番中の定番は、やはり「第九(だいく)；交響曲第9番ニ短調」です。音楽の時間に学習する「運命；交響曲第5番ハ短調」を作曲したベートーヴェンの最高傑作の一つだとも言われています。1824年に作曲された独唱と合唱を伴う交響曲ですが、なんといっても圧倒的なスケールの大きな世界観が魅力です。テーマは「喜び」。どんな苦悩があろうとも、問い続けていくなかで少しずつ幸せの輪が広がり世界中に広がっていく。誰か一人でも心通わせる友がいるならば、喜びを共にしよう。フィナーレを飾る第4楽章は感動的です。曲を聴き終わった後、思い悩んでいることが吹き飛ばされ、「来年はもっといい年にする」という思いになり、心の底から力が湧いてきます。令和7年がもうすぐ終わります。この一年、がんばった自分を自分でしっかり褒めてください。自分だけが知っている自分のがんばりは、必ず自分の支えになります。新しい年は今年よりも、もっと素晴らしい飛躍の一年にきつとなります。一人ひとりの力は小さくとも「みんなで」「つながって」積み重ねてきました。第41期の生徒会活動が本格的に始動しています。次年度に向けての準備もスタートしています。今年もあとわずか。今年を少しずつ振り返ってみましょう。今だからこそ、次に向かう指針やヒントがきっと見えてきます。



成長を実感した修学旅行！「スイミー」もっともっと大きくなってみせます！



2年生は12月11日(木)～13日(土)に行われた2泊3日の奈良や京都での修学旅行から無事に帰ってくることができました。天候にも恵まれ、そして大きな事故等なく予定通りの活動ができました。これも、2年生みんなの修学旅行を成功させるのだという強い思いによるものだと感じました。修学旅行のスローガンは「スイミー～小さな力が集まれば大きな一歩に」。たとえ一人ひとりの力が小さくても、みんなが「修学旅行を成功させる！修学旅行を通して成長してみせる！」という目標に向かって力を合わせたからこそ、「みんなで」「つながって」泳ぎ切ることができました。一日目の奈良。東大寺南大門の金剛力士像の迫力に圧倒され、大仏殿の壮大さと荘厳さは息をのむほどでした。薬師寺の方からの法話では、目の前のことを「面白い」と思うのか「面倒」と思うかは「自分の心」が決めていることだ、たくさんの経験や先達からの指摘を通して磨くからこそ「個性」となっていくなどの話をされ、これから私たちが進むためのエネルギーをいただきました。二日目、三日目の京都。京都市内の班別自主研修で、京都の伝統文化にたくさん触れることができました。金閣の美しさや清水寺の重厚感を目の当たりにしたり、400年の食文化の歴史をもつ「京の台所」錦市場の活気に心が躍ったりしました。修学旅行を成功させるため、2年生全員で力を合わせ「スイミー」となれたと実感できた3日間でした。太西中2年生「スイミー」の物語は続きます。さあ、これから2年生がもっともっと大きな「スイミー」となって、令和8年度に向けて力強い泳ぎをすることでしょう。

令和8年はもっともっとすばらしい年になる！

ぐんぐん成長する子どもたちに日々感動しています。これまで子どもたちが成長できたのは、保護者の皆さま、地域の皆さまが子どもたちを支え、応援してくださるとともに、いつも本校の教育活動に対するご理解ならびにご協力を賜ったことにほかなりません。心より感謝申し上げます。今後も本校教職員一同、一丸となって努力いたします。太宰府西中学校に関わるすべての皆様にとって、新しい年がもっともっと幸せで、大きな飛躍の年となりますようにお祈り申し上げます。令和8年もどうぞよろしくお願いいたします。

